



高知市令和5年度公募 グループホームあさかぜ（仮） プレゼンテーション資料



社会福祉法人 **伊野福祉会**

令和5年8月23日

登壇者

川上哲治

福留佑斗

中村浩也

法人紹介 スローガン

いつでも、

どこでも、

誰とでも、

ホスピタリティー

マインドで！



社会福祉法人 伊野福祉会

法人紹介 運営理念

地域に根差した
社会福祉法人として
地域に貢献します。

确实、効果的な
事業経営を行います。

様々な職場で
活躍できる
人材育成。

法人紹介 施設紹介



寿幸園 (いの町天王)



きらり (日高村)



ステラ (高知市棧橋)



ゆとりの里 (いの駅前町)

在宅サービス
デイサービスセンター 寿幸園
デイサービス 駅前ゆとりあ
ヘルパーステーション いの
居宅介護支援事業所 ぼっちり

在宅サービス (小規模多機能)
小規模多機能型居宅介護支援事業所 寿幸園
(寿幸園) サテライト いの
小規模多機能型居宅介護事業所 えだがわ

施設サービス (入所系)
グループホーム 上記4事業所
ケアハウス いの

応募の動機

○今回のグループホームあさかぜの応募については、高知市が官民一体となって取り組まれている「ちいきぐるみの支え合いづくり」その力になりたいという思いと、「いつでも、どこでも、だれとでも、ホスピタリティマインドで！」という伊野福社会の法人のスローガンの下、当法人を高知市の方々に更に知ってもらい、いの町で培ったノウハウを生かして、高知市の介護サービスの発展に協力したいという思いから応募致しました。



地域密着型サービスの考え方

利用者様に住み慣れた地域で生活をして頂く。
事業所は地域と共にあり成長する。

地域に開かれた
事業所になる。

(顔なじみの関係作り)

- 運営推進会議
- 認知症カフェ
- 民生員、地区長
- 包括支援センター

事業所に来ても
らうだけではなく
出向く。

(更に顔なじみに！
地域社会資源も知る)

- 地域夏祭りへの参加
- ミニデイ、サロン参加
- 地域の清掃活動

質の高いケア+
医療連携。

サービスの質を高める



職員を育てる(職場OJT)

職員の確保

(処遇、福利厚生の実)

医療連携

近隣の病院や診療所と連携

看護師の配置

防災・非常災害への対応

災害に対する連携

- 消防計画を作成し、法定火災避難訓練の定期的な実施
- 火災、地震、風水害避難訓練をマニュアルに則り実施
- 訓練毎に防災設備の確認を実施、必要に応じてマニュアルも見直します。
- 地域の防災訓練への参加等を行い、地域からの協力が得られる体制を整える
- 火災通報装置、火災通報電話機、避難誘導灯、消火器等の定期確認
- 食料、必要物品の備蓄（4日分） 飲料水、電気の確保（発電機、蓄電池）

利用者、働く職員の安全の為、上記内容をコミットします。

BCPについて

- 開所日までにBCPを策定する。
- 近隣の高齢者の避難の受け入れ。
- 健常者の場合でも避難場所の提供を行う代わりに介護に協力してもらう。
- BCPを絵に描いた餅にしない。実現可能な計画を立てる。

防災・非常災害への対応



サービスの質（個別処遇）

食の自立

- 食事時の役割はご飯をよそったり、配膳したりすることで！
- 「食」に関するイベントを通じて季節感や刺激を感じ、
食べることの楽しさ、大事さを忘れないように。



サービスの質（個別処遇）

排泄の自立

- 栄養バランスの整った食事の提供
- 体操などの体を動かすことでの排泄時に必要な

動作の機能維持や向上



例) 排泄の為の基本的な運動

重心移動



足への重心移動が、「いきむ」ことや立ち上がる動作の改善につながります。

体をねじる



体をねじる動きが、便秘解消につながります。

手足の上げ下げ



手足を上げ下げする動きで、腹筋を鍛えます。

股関節開き



股関節を開く動きで、排泄に必要な座位のバランスを向上させます。

サービスの質（個別処遇）

歩行改善等の取り組み

- 各廊下にも手摺りを配備、それを使っての歩行訓練
- 生活リハとしての居室掃除の取り組み



サービスの質（個別処遇）

認知症の進行防止に向けた取り組み

- ・ 安心して健康な暮らしの継続
- ・ 自立に向けた取り組みを楽しく元気に「生きがい」に



サービスの質（個別処遇）

重度化及び看取りに対する支援の取り組み

ケアハウスやグループホーム等で多数のターミナルケアを実践、その経験を活かし、ご利用者本人が望む、尊厳ある最後を迎えられるように取り組んでいきたいと考えています！

サービスの質（個別処遇）

施設ハード面での工夫

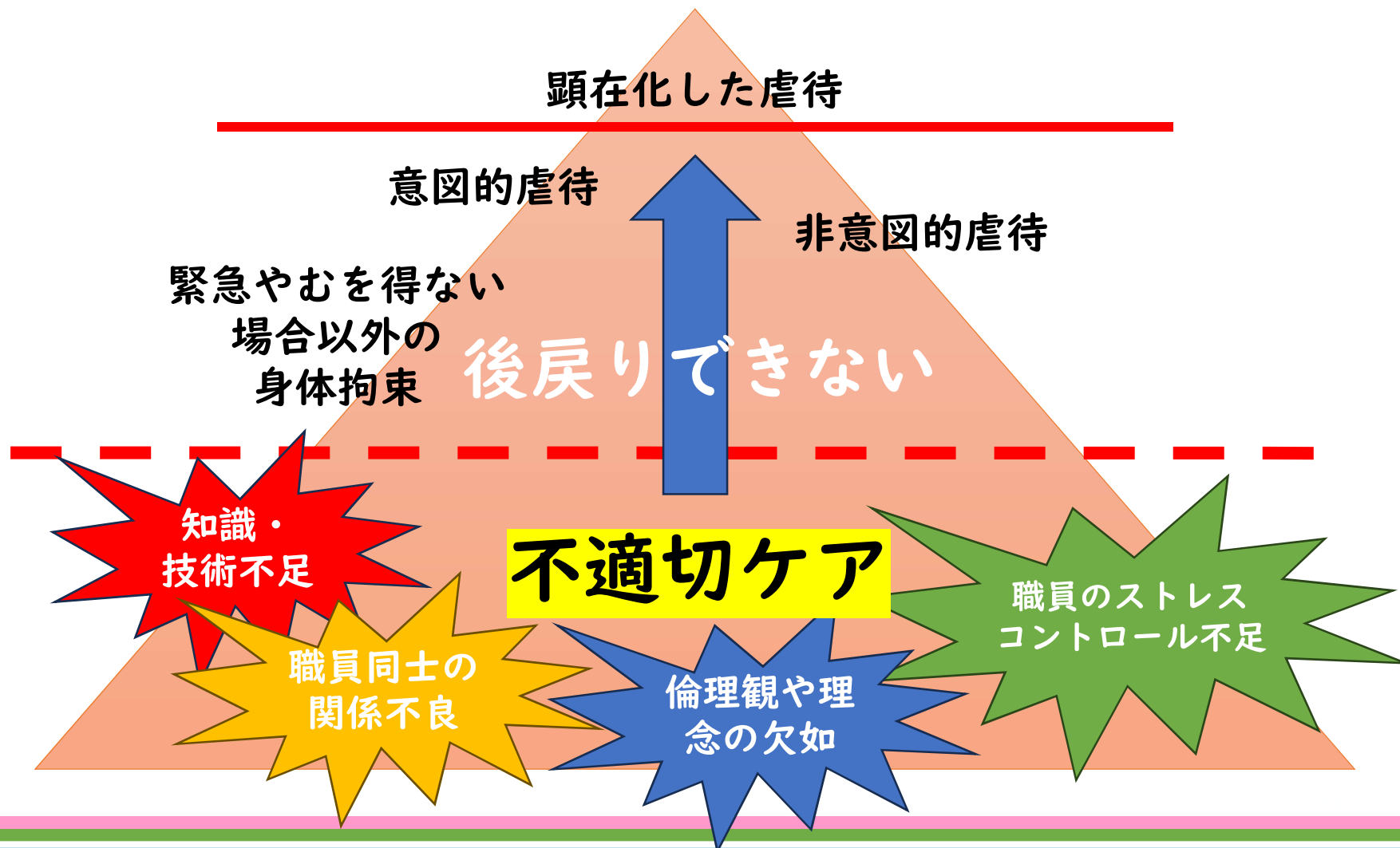
- プライバシーが確保された家族用の宿泊室を事業所内に設置
- 心拍や血圧のデータ収集・異常時、アラートで知らせてくれる見守りセンサー

（※必要時のみのカメラ駆動とし、利用者のプライバシー確保にも留意する）



身体拘束廃止に向けた取り組み（考え方）

身近に起こりうると考える事から始まる。



身体拘束廃止の具体的な取り組み

当たり前を徹底的に！！

その上で！！

- ・ 3要件を正しく理解して、運用する。
-

その為に！！

- ・ 現実的な身体拘束に関するマニュアルを整備する。
-

だから！！

- ・ 身体拘束廃止委員会の活動を本気で行う。
-



虐待防止・早期対応への取り組み（不適切ケア撲滅）

1・不適切ケアチェック表の活用

不適切ケアチェック表		
	評価日	令和 年 月 日
	種類	該当にレ
①	微熱を理由にベッド上での生活を強制する	
②	食事時、大きなスプーンで口に一杯入れる	
③	車椅子の移動、あるいは食事介助、衣服の着脱時、乱暴であったりテンポが速い介助をしている	
④	入居者に乱暴に布団を掛けている	
⑤	離床・臥床介助をする時に乱暴に行っている	
⑥	つねる、たたく、蹴るなどの行為	
⑦	車椅子を強く押す	
⑧	声掛けなしに介助する	
⑨	十分トイレで排泄できる入居者をおむつ対応にしている	
⑩	目やにが付いたまま、髪がボサボサのままにしている	
⑪	自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。	
⑫	洋服がねじれたり、汚れて汚れているのをそのままにする	
⑬	着替えをせずに、いつも同じ服を着せている	
⑭	夜間はオムツを交換せず、シーツや寝巻がびしょびしょに濡れている	
⑮	シーツが汚れていても交換せず、そのままにしている	
⑯	ベッドの上に常に食べこぼしがある状態で放っている	
⑰	入浴後、髪を乾かさず放っている	
⑱	更衣や排泄後、ズボンがねじられたままになっている	
⑲	積極的な動きかけをせずに椅子に座らせっぱなしにしない	
⑳	職員が忙しい時間帯であると寝かせる	

㉕	入居者に、命令口調や上から物を言う	
㉖	「何をやっているんだ。」等、乱暴な言葉使いをする	
㉗	名前の呼び捨てや「おじいさん」「おばあさん」と呼ぶ	
㉘	入居者に「それは止めましょう」「だめです」等の指示をする	
㉙	本人の前で気になるような言葉をしゃべらない	
㉚	本人のいる前で排泄の話をする	
㉛	手のかかる入居者が声をかけてきたら聞こえない素振りをする	
㉜	食事介助中「早く食べて」と急がせる	
㉝	コールを「何度も鳴らさないで」等と言う	
㉞	コールを手の届かない位置に置く	
㉟	コールが鳴らないようにする	
㊱	排泄介助介助を、プライバシーの配慮せず行う	
㊲	入浴介助を、プライバシーの配慮せず行う	
㊳	入居者を子ども扱いする	
合計		

**半年に1度実施し
職員全員で共有する！！**

虐待防止・早期対応への取り組み（不適切ケア撲滅）

2・職員の知識、技術向上



(例) 新人育成計画（未経験者）

伊野福祉会

1、勤務について

- ① 入社から1ヶ月は日勤勤務する
- ② 2ヶ月目から、早出・遅出業務の流れも体験する
- ③ 夜勤勤務については、入社から6ヶ月～12ヶ月の期間を経て開始となる。

2、マンツーマン指導体制

- ① 入社1ヶ月は、リーダー・サブリーダーを中心にプリセプター（指導する職員）としてつく
- ② 早出、遅出の業務は、2ヶ月目から1か月間指導する

3、OJT記録用紙について

- ① 入社1週目～8週目は新任職員記録チェックシートを記入し当日の担当職員に提出する
- ② 終了時間30分前から記入する時間を設ける。
- ③ 担当職員は終業時間までに記入する

4、面接

- ① 入社6週後…リーダー・施設長と面接を行う。OJT計画表、フォローアップ新人記録、基礎評価表を基に、何ができて何が今後の課題なのかを話す。また、新人職員が不安や疑問に思っていることなども確認する。
- ② 入社2か月半後…施設長と面接を行う。今後の業務継続の確認を行う。新人職員の不安や疑問を聞く。業務に関する課題を話し、解決する為の方法を一緒に検討する。
- ③ 入社6ヵ月後…リーダー・施設長と面接を行う。今後の業務の確認を行う。新人職員の不安や疑問を聞く。業務に関する課題を話し、解決する為の方法を一緒に検討する。
- ④ 入社1年後…施設長と面接を行う。新人職員の不安や疑問を聞く。

5、育成スケジュール

<1～2週間>

- ① オリエンテーション
- ② 職員に挨拶をする
- ③ 入居者に笑顔、大きな声で挨拶をする
- ④ 入居者の名前を覚える
- ⑤ 職員の職種の役割や名前を覚える
- ⑥ 入居者の部屋を覚える
- ⑦ 1日の流れを覚える
- ⑧ 入居者とコミュニケーションをとる
- ⑨ 体操やレクなどを一緒に行う
- ⑩ 配膳・下膳・水分の提供の手伝いをする
- ⑪ 各チェック表の説明をする
- ⑫ 車いすの使用方法を学ぶ。車いす移動の介助が出来るようになる
- ⑬ 食事・排泄・入浴・口腔ケア・更衣等の介助を見学する

<3週目～4週目>

- ① 食事・排泄・入浴・更衣・口腔ケア・移動・移乗の介助を軽介助者から開始していく。必ず当日の担当者が見守りを行う
- ② 各チェック表の記入が出来るようになる
- ③ 各マニュアルの確認を行う

<2か月目>

- ① 早出・遅出業務（起床・排泄・更衣・食事・口腔・移動・水分・臥床）軽介助の介護を担当の職員の見守りを受け開始。
- ② 服薬マニュアルを学び、担当職員の見守りの中、服薬介助が出来るようになる。

<3か月目>

- ① 早出・遅出勤務を1人で行う
- ② 服薬介助が自立する
- ③ チェック表の記載が出来るようになる

<4か月目～>

- ① 各個人のケアプランを見て、iPadで記録の記入が出来るようにリーダーが指導する

新人職員の知識・技術向上の為、育成計画を作成！！

虐待防止・早期対応への取り組み（不適切ケア撲滅）

2・職員の知識、技術向上

新任職員育成記録・チェックシート					専務理事	事務長	介護福祉士	施設長	担当
職員名	職種	介護職員	入職日	令和 年 月 日 ()					
入職日表	1〜2週目	実施日	令和 年 月 日 ()	担当					
実施日	令和 年 月 日 ()	～	令和 年 月 日 ()						
本人	担当職員のアドバイス								
入職1か月 目の目標									
到達課題チェックシート									
課題	評価			本人	担当者	施設長			
基	挨拶や返事ができる。								
本	入居者様へ笑顔で挨拶が出来る								
末	入居者様に大きな声で話が出る								
物	身だしなみを整えている。								
介	入居者様の名前を覚える								
入	職員の職種や名刺を覚える								
介	入居者様の食卓の位置を覚える								
入	入居者様とコミュニケーションをとる								
介	配膳の手伝いが出来る								
入	下膳の手伝いが出来る								
介	水分やおやつを配る手伝いが出来る								
入	各種のチェッパの取扱いが出来る								
介	車椅子の使用法を理解する								
入	正しいでの移動介助が出来るようになる								
介	食事介助を見学して、介助が必要な入居者様の状態を把握し理解する								
入	排泄介助を見学して、介助が必要な入居者様の状態を把握し理解する								
介	入浴介助を見学して、介助が必要な入居者様の状態を把握し理解する								
入	口腔ケアの介助を見学して、介助が必要な入居者様の状態を把握し理解する								
介	更衣の介助を見学して、介助が必要な入居者様の状態を把握し理解する								
評価：○…できた △…ほぼできた ×…できなかった									
新任職員の振り返り	担当職員のアドバイス								
新任職員の振り返り	(評価日: 令和 年 月 日)								
次回の課題									

新任職員育成記録・チェックシート					専務理事	事務長	運営推進室	施設長	担当
職員名	職種	介護職員	入職日	令和 年 月 日 ()					
入職日表	3〜4週目	実施日	令和 年 月 日 ()	担当					
実施日	令和 年 月 日 ()	～	令和 年 月 日 ()						
本人	担当職員のアドバイス								
入職1か月 目の目標									
到達課題チェックシート									
課題	評価			本人	担当者	施設長			
基	1日の流れを把握する								
本	入居者様の履歴を覚える								
末	入居者様の状態を把握し食事介助を行う(假令介助)								
物	入居者様の状態を把握し排泄介助を行う(假令介助)								
介	入居者様の状態を把握し洗濯介助を行う(假令介助)								
入	入居者様の状態を把握し入浴介助を行う(假令介助)								
介	入居者様の状態を把握し更衣介助を行う(假令介助)								
入	入居者様の状態を把握し口腔ケア介助を行う(假令介助)								
介	入居者様の状態を把握し車椅子介助を行う(假令介助)								
入	各チェック表を理解し記入が出来るようになる								
介	食事の配膳が出来るようになる								
入	食事の下膳が出来るようになる								
介	水分やおやつを配る手伝いが出来る								
入	必要の手をメモする								
評価：○…できた △…ほぼできた ×…できなかった									
新任職員の振り返り	担当職員のアドバイス								
新任職員の振り返り	(評価日: 令和 年 月 日)								
次回の課題									

新任職員育成記録・チェックシート					専務理事	事務長	運営推進室	施設長	担当
職員名	職種	介護職員	入職日	令和 年 月 日 ()					
入職日表	5〜6週目(5か月目)	実施日	令和 年 月 日 ()	担当					
実施日	令和 年 月 日 ()	～	令和 年 月 日 ()						
本人	担当職員のアドバイス								
入職1か月 目の目標									
到達課題チェックシート									
課題	評価			本人	担当者	施設長			
基	(早期)入居者様への挨拶が出来る								
本	ベッドで寝ている入居者様を起こす事が出来る								
末	ベッドから車椅子に移動する事が出来る								
物	排泄の介助が出来る								
介	おむつやパット交換が出来る								
入	更衣の介助が出来る								
介	食事まで移動する事が出来る								
入	居室の電気を通し、ベッドオーキングや居室の中を歩行する								
介	汚したおむつを片付ける								
入	居室の掃除が出来る								
介	居室の介助が出来る								
入	居室の口腔ケアが出来る								
介	(選択)夕食までにご飯から食卓に運搬する事が出来る								
入	夕食の配膳が出来る								
介	夕食の配膳が出来る								
入	夕食ご配膳までの移動が出来る								
介	夕食機口配膳が出来る								
入	パジャマに着替えの介助を行う								
介	排泄の介助を行い、夜間のパットに交換する事が出来る								
入	電気の介助が出来る								
介	居室のマニキュアを施す								
入	居室の掃除が行い、排泄が出来るようになる								
介	入居の準備が出来る								
評価：○…できた △…ほぼできた ×…できなかった									
新任職員の振り返り	担当職員のアドバイス								
新任職員の振り返り	(評価日: 令和 年 月 日)								
次回の課題									

育成チェック表は法人理事も確認！！

虐待防止・早期対応への取り組み（不適切ケア撲滅）

3・法人理念・倫理観の獲得

1日目 4月1日(金) 9:30~17:30 司会：石垣 妙			
時間	内容	所要時間	担当講師
9:00~	司会挨拶 ①入社式（専務挨拶） ②(役員挨拶) ③辞令交付	15分	石垣 妙 (司会)
9:15~	④オリエンテーション	20分	前田真由美
9:35~	⑤法人理念・職員倫理（コンプライアンス）	20分	前田真由美
9:55~	⑥介護保険制度とは	40分	織田 ひとみ
⇐	休憩	10分	⇐
10:45~	⑦接遇マナー	70分	石垣 妙
⇐	昼食(「ケアハウスいの」の食事にて昼食)	60分	⇐
13:00~	⑧身体拘束廃止・虐待防止	30分	中村 浩也



中途採用者向研修



新人研修

求められる倫理観

- ・ 公共性と公益性の高い社会福祉事業の担い手であることを認識し、社会福祉法人の職員としての専門性を十分に発揮しなければならない。
- ・ 倫理綱領を理解し、明確な倫理観を持つことが求められる。

倫理観がないと・・・

- ・ だめとわかっていても、忙しくてつい強い言葉で対応してしまう・・・
- ・ SNSにご利用者のプライバシーに関わるような写真を投稿してしまう・・・

コンプライアンスとは



法人格に設置している教育委員会が研修企画！！

虐待防止・早期対応への取り組み（不適切ケア撲滅）

4・職員の関係不良、ストレス対策

ストレス度チェックについて

現代社会はストレス社会といわれています。私たちの生活は、家庭や地域、学校や職場においてもストレスから逃れることはできません。しかし、全くストレスがない生活は強りもなくなつてしまつてしまつてしまいます。適度なストレスこそ、いきいきとした生活を送らせてくれるともいえます。

しかしながら、過度なストレスは様々な体と心の病気を招きます。

ストレスが体の病気として現れた場合を心身症と呼びます。心身症は内科領域だけでなく、整形外科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科など多くの診療科でもみられます。代表的な心身症としては、気管支喘息、過敏性腸症候群、高血圧症、緊張性頭痛、自律神経失調症、甲状腺患者、繊維筋痛症などがあります。ストレスは免疫力の低下も招きますから、ガンにもなりやすくなります。

ストレスからくる心の病気としては、うつ病、パニック障害、社交不安障害などがみられます。

これらの病気にならないためにも、自分の心と体がどれほどのストレス状態にあるかを知ることが大切です。ストレス状態の程度によっては食事や運動、休養などの生活習慣の見直しが必要になり、さらに悪化している場合は専門医の受診が必要になります。

病気は[未病]のうちで治す、あるいは病気がかからないように予防することの方が、時間も労力もコストも少なく済みます。病気になってしまつて多くの医療費がかかり、しかも仕事や家庭生活に支障をきたすため、自分が辛いだけでなく、周囲にも負担をかけてしまいます。ストレスチェックリストを上手に活用して、ぜひ早めの対応を心がけてください。

ストレス度チェック

- 酒がこつたり酔中が酷くなる
- なんとなつても胃の調子が悪い
- おなかの調子が悪くなる
- 目が疲れやすく、しょぼしょぼしたりする
- とまどきめまいや立ちくらみやすくなる
- 以前より口内炎がでやすくなる
- 顔が赤く、ほてることがある
- 今まで好きだった食べ物を食べたいと思わない
- グイェットしたわけでもないのに、休養がほしい
- 寒つきが酷くなる
- 夢を見る回数が増える
- よく風邪をひいて、こらえる
- ちょっとしたことでもイライラしてしまう
- 寒でも寒でも眠ることができない
- 急に息苦しくなることがある
- 小さなことをクヨクヨ悔えてきた
- 遅い、遅い、遅い、遅い、遅い、遅い
- 何回か風邪を患えられたとき、すぐに菌を寄せた
- お笑い番組や友人の冗談を、ちっとも笑えない
- 人と会うのがおっくうになった
- 眠がすきにならない
- 頭痛や腰痛がある
- なかなか疲れがとれない
- 夜中に目が覚めて、その後も寝付けないことが多い
- 仕事に集中できない
- 寝つきが悪い
- 手のひらや足の下に汗をかくことが多い
- 胸が痛んだり圧迫感を感じたりする
- 下痢または便秘をするのがしばしばある

～ 0 目 あなたの心はますます疲弊。心も体も安定した状態です。無理に頑張るのをやめて、無理に頑張るのをやめて下さい。

～ 1 目 軽いストレス状態です。軽いからと甘く見ないで、少しでも体調の変化を感じたらバランスの良い食事をとる、睡眠を十分にとるなど生活習慣を見直しましょう。気分転換をするのもよいでしょう。

幹部が手料理で職員を労う



法人設置している安全・衛生委員会が働きやすい環境作り。

家族・地域住民との日常的な交流への取り組み

いの町での実績

炊き出し



地域に貢献してくれた
と「感謝状」を頂きました



地域清掃への参加



ミニデイでの出前講座



子ども食堂への職員派遣



いのつながる会



認知症カフェの開催



法人設置している地域共生委員会が地域交流を企画。

地域住民との日常的な交流への取り組み

高知市で実現したい事！！

地域の認知症ケアの基幹になる

- ・地域住民をまきこみ地域全体で認知症の方を支える仕組み作り

その為に！！

- ・地域交流室を設置
- ・いきいき百歳サポーター育成教室へ参加
- ・支え合いマップづくりへの参加
- ・認知症サポーター養成講座へ参加

そして！！

- ・学芸高校との連携
- ・認知症カフェを開催して講座開催
- ・百歳体操の開催
- ・地域内連携協議会との連携
- ・こうち笑顔マイレージボランティアの受け入れ

家族との日常的な交流への取り組み

居住サービスだからこそ自分らしさを！！

家族会の開催

- ・ 定期的な開催を行い、家族の意見も運営に取り入れる
-

サービス担当者会議に家族も参加

- ・ 入居しても、家族もケアチームの一員！！
-

敬老会や行事への家族参加

- ・ 家族も一緒に行事を楽しむ！！
-

衛生管理・感染症対策

スケールメリットを活かした取り組み！！

感染症BCP、感染対策マニュアル整備済

- ・全事業所管理者、看護師、幹部職員にて検討会議を開催

タブレット端末の導入

- ・コロナ等、感染症流行時にも家族との面会機会を作る

食中毒発生予防へもしっかり取り組む

- ・法人設置の栄養改善委員会が発生予防の取り組み
- ・教育委員会が感染症発生時の対応研修の開催

衛生管理・感染症対策

食中毒発生予防への取り組みの一例

食中毒の予防と対策

原因となる細菌や症状、対処法について

食中毒を引き起こす細菌

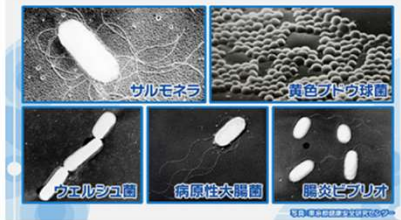
食中毒は見えない細菌との戦いです。特に夏の温度や湿度は、食中毒を引き起こす細菌たちが増えやすい環境なので、日頃から食材の扱いに注意が必要です。食中毒は、通常、10万~100万個の細菌が体に入ることによって起こりますが、細菌の中には、少ない細菌でも食中毒を起こすものもあります。その一つが「カンピロバクター」です。

カンピロバクター

- わずかな菌数で感染
- 細菌による食中毒発生件数1位
- 肉類 特に鶏肉から感染
- ギラン・バレー症候群に注意

カンピロバクターは細菌による食中毒で発生件数が一番多く、肉類、特に鶏肉から感染します。症状としては主に、発熱、腹痛、下痢ですが「ギラン・バレー症候群」という手足の麻痺や呼吸困難といった重篤な症状を引き起こすこともあります。

カンピロバクター以外にも食中毒を引き起こす細菌には様々な種類があります。主に卵や鶏肉から感染する「サルモネラ」。私たちの手に隠れている「黄色ブドウ球菌」は十分に手を洗わなかったり、切り傷のある手で触った食品などから感染することがあります。熱に強い「ウェルシュ菌」。主に生肉から感染する「病原性大腸菌」、この細菌は0157で有名です。そして、魚介にもついている「腸炎ビブリオ」などがあります。



高齢者施設で起こりやすい食中毒の事故

1. ウェルシュ菌（細菌）：作り置きされた食品で発生することが多い
2. ノロウイルス（ウイルス）：集団感染のリスクの高いウイルス
3. ブドウ球菌（細菌）：黄色ブドウ球菌の手を介して感染
4. カンピロバクター・ジェジュニ/コリ：加熱不良の食品を提供した場合、又、少ない細菌で発症する
5. サルモネラ属菌：鶏肉や鶏卵の加熱不良や生食が発生の原因となることが多い

細菌の死滅温度と発育温度

感染型 (生体内毒害型)	0157が有名。牛乳、ハンバーグ、ローストビーフ、惣菜、サラダなどに多い。	肉類や卵の加工品（ハム、ソーセージなど）スープ類などに多い。	漬物やサンドイッチなど、長時間放置された料理に多く発生する。
毒素型 (食品内毒害型)	ボツリヌス菌 真空パック入り食品、ビン詰めや缶詰の食品、長期保存食品に多い。	セレウス菌（嘔吐型） チャーハン、ピラフ、おにぎり、仕出し弁当、スパゲティなどに多い。	ブドウ球菌 人の手などを介して感染するため、おにぎり、すしなどに多い。

POINT 食品が腐んでいた場合は、味、色、臭いによって分かりますが、食中毒は外から分かる変化がありません。臭いになる場合は、よく熱を通すか、あきらめて捨てましょう。

食中毒の三原則

食中毒を予防するための三原則は、細菌を「つけない」、「増やさない」、「やっつける」です。

つけない

「つけない」
先ず細菌を「つけない」ために、洗える食材は、調理前に丁寧に洗います。肉や魚を切った包丁やまな板は、細菌がついているので、しっかり洗ってから使いましょう。また、肉を使っていた箸と同じ箸で、他のものをつかんだり、食べたりしてしまうと、肉についていた細菌が、箸や他の食材を通して体に入ってしまう。調理中の肉や魚をつかむ箸、それ以外をつかむ箸、食べる箸は分けて使うようにしましょう。

増やさない

「増やさない」
次に、細菌は常温で働きが活発になり、どんどん増えていきます。「増やさない」ために、食品を解凍する場合には、常温でガラガラ解凍することを避けます。また、買物で食材を持ち歩いている間も細菌は増え続けます。特に夏場は保冷バッグを使用したり、持ち歩く時間を短くするようにします。同様に、料理は出来たてを早めに食べるようにし、常温で長時間放置しないようにします。冷蔵庫で保存していても、細菌は少し増えていくため、早めに食べることを心がけます。

やっつける

「やっつける」=殺菌する
多くの殺菌は熱に弱く、しっかりと加熱することで死滅します。肉や魚を調理するときは、必ずしっかりと火を通します。中には、加熱しても死なない細菌(ウェルシュ菌)もいるので、つけない、増やさないを徹底することが大切です。

苦情受付体制及びサービスの質向上の取り組み

日頃からの信頼関係が重要

ヒヤリハットの導入

- ・ 家族対応等、サービス提供に関するヒヤリハット導入

意見箱の設置

- ・ 事業所入り口等、職員と顔を合わせない場所に意見箱を設置。

運営推進会議でも報告

- ・ 意見箱に上がった意見や、ヒヤリハットを改善策と併せて報告



苦情受付体制及びサービスの質向上の取り組み

法人全体会議でも苦情内容を共有

任意福祉法人 伊野福祉会		理事長		専務理事		事務長		事務長補佐		運営他役員		管理者	
事業所名													
苦情受付経過記録													
受付日		令和 年 月 日 () 時 分						記入者 (担当者)					
利用者		(フリガナ) 氏 名		被保険者番号									
申立人		(フリガナ) 氏 名		利用者との関係		<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 子 () <input type="checkbox"/> 子の配偶者 <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> その他 ()							
住所				電話番号									
<input type="checkbox"/> サービス内容に関する事項 <input type="checkbox"/> 利用料・保険給付に関する事項 <input type="checkbox"/> 施設・設備等に関する事項 <input type="checkbox"/> 別 分 慮等に関する事項 <input type="checkbox"/> 要介護認定に関する事項 <input type="checkbox"/> その他 ()													
苦情等の内容													
申立人の要望		<input type="checkbox"/> 改善してほしい <input type="checkbox"/> 調査してほしい <input type="checkbox"/> 教えてほしい <input type="checkbox"/> 回答してほしい <input type="checkbox"/> 話を聞いてほしい <input type="checkbox"/> 弁償してほしい <input type="checkbox"/> 提言 ()											
事実確認の状況													
対応状況													

関係機関	市町村への報告	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	市町村名	担当課・担当者名
	国保連への申立	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		担当課・担当者名
	高知県他、関係機関への申立	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	申立先	担当課・担当者名
関係機関との対応状況				
その後の経過				
申立人への報告	年 月 日 () 時 分	方法等		
経過	結果 (結果)			
再発防止のための取り組み	再発防止のための取り組み	<input type="checkbox"/> 説明不足 <input type="checkbox"/> 職員の態度・対応 <input type="checkbox"/> サービス内容 <input type="checkbox"/> サービス量 <input type="checkbox"/> 管理体制 <input type="checkbox"/> 権利侵害 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	改善策の実現状況			
(備考)				

事故防止への取り組み

だろろ×かもしれない○

危険予知研修の実施

- ・ 法人設置の教育委員会が介護職員向けの研修を企画・開催

ヒヤリハットをケアプランへ反映

- ・ リスクマネジメントの意味でヒヤリハットをケアプランに反映
- ・ 利用者の健康状態、心身機能、身体構造も要因に捉える

見守りセンサーの導入

- ・ 離床センサー機能も導入、カメラ機能をつけて、タブレット端末と連携

生活の質向上のための具体的な取り組み

様々な行事を開催し満足度を高める



カツオのたたき祭



初詣（大黒様）



節分



餅つき大会



流しソーメン



回転寿司



敬老会



外出支援



バーベキュー



クリスマス会

安定した事業所運営

事業所開設に向けた広報活動

周知活動

これまでの実績

- 朝倉地区会長へのご挨拶
(5月18日、6月26日訪問済み)
- 高知学芸中学高等学校への訪問
(7月7日訪問済み)
- 大谷公園町、水久保地区への周知活動
(8月6日に地元説明会開催済)

今後の予定

- 整備予定地に開設予定の看板の設置
- 地域周辺
(榎山町、大谷公園町等へ
リーフレット配布)
- 高知新聞等で開設広告配布

10/1 新規OPEN

小規模えだがわ



例

■小規模とは?



通い(デイサービス)、訪問(ヘルパー)の3つのサービスを一体的に提供する事業所です。全てのサービスを同じスタッフが行うので、馴染みの関係が築けることから、安心することご家族からも好評です。利用料金は月額定額制のため、毎月の介護費用の計算がしやすく計画的に利用できます。ご利用者に少しでも長く住み慣れた自宅生活していただけるよう、職員一丸で取り組んでいます。職員が自分の頼りたくなる事業所を目指しています。

■通い(デイサービス)



短時間&長時間利用可能!
利用時間は自由設定!個別送迎

■宿泊(ショート)



当日相談等、緊急の泊まりも可能!
夕方からの利用も可能

■訪問(ヘルパー)



配食、ゴミ捨て、おむつ交換、風呂介助、1日複数回訪問!

伊野福祉会 の小規模多機能型居宅介護事務所!



サテライトの
いの町駅前町14



小規模 壽幸園
いの町天王南6丁目1-1

安定した事業所運営

職員の採用に向けた求人活動

求人活動

- ハローワークへ求人掲載
(ハローワークでのミニ面接会の開催)
- 高知新聞等広告 求人掲載
- ふくし就職フェアへの参加
- 施設掲示板、スーパーへの求人広告掲載

職員定着に向けた施策

- 資格取得支援
(介護福祉士合格祝い金、試験費用50%
を支給 実務研修についても50%)
- 雇用形態の柔軟性 (育児中の親多数)
- 介護休暇取得実績 (今年度1件)
- 育児休暇取得男性 (昨年、今年度1件)
- 紹介業者との連携で、間口広く求人

2023年7月16日付Qbo6枠

スタッフ募集

介護職 [正職員]

- ◎ 資格/介護福祉士
- ◎ 採用予定人員/2名程度
- ◎ 給与/217,000円~262,000円、賞与別途
- ◎ 勤務地/いの町
(ケアハウスの、小規模多機能えだがわ)

ケアマネージャー

- ◎ 資格/介護支援専門員
- ◎ 採用予定人員/2名程度
- ◎ 給与/120,000円~135,000円
- ◎ 勤務地/いの町
(グループホーム壽幸園、小規模多機能えだがわ)

応募 電話連絡のうえ、履歴書送付

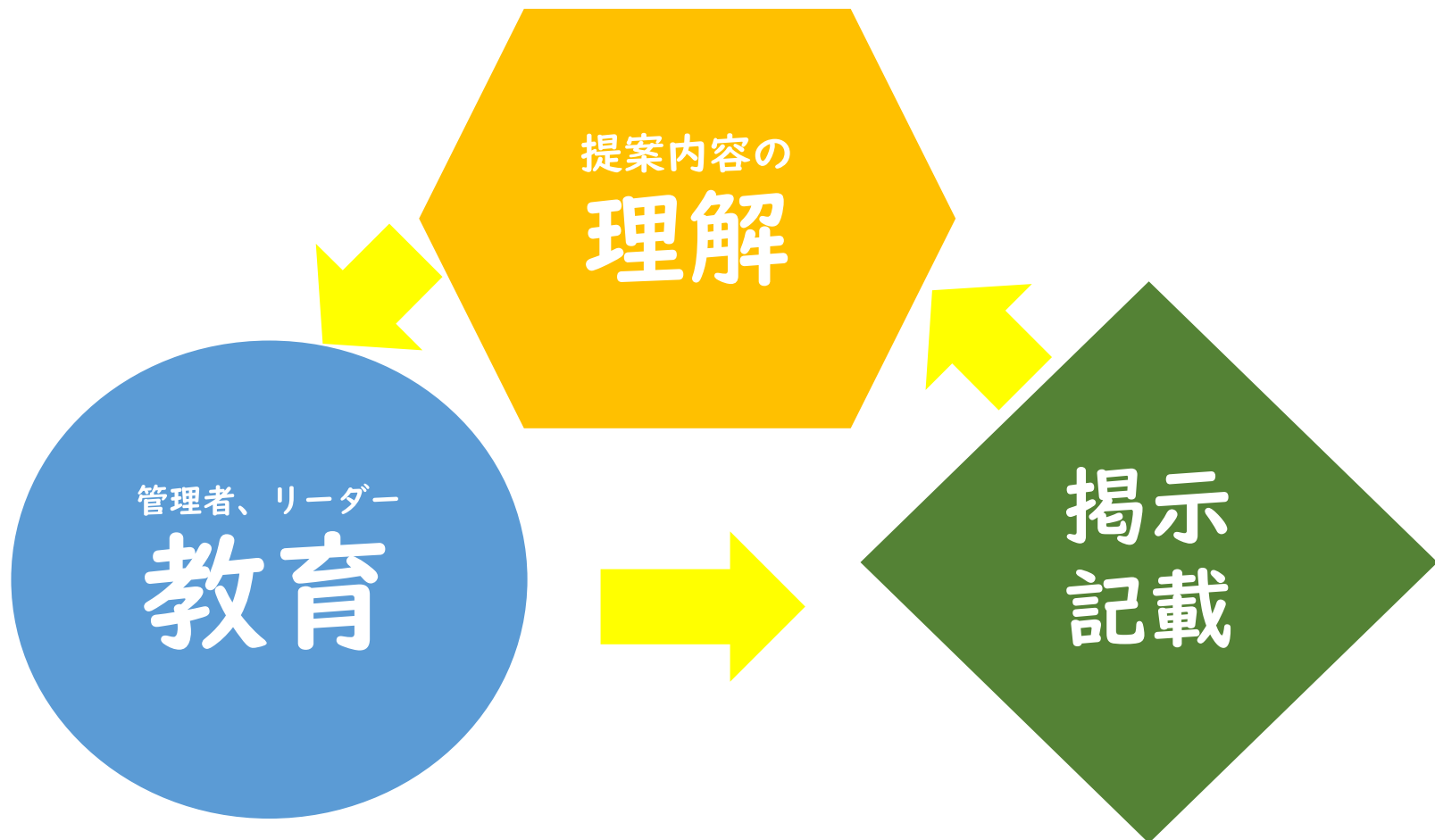
社会福祉法人
伊野福祉会
吾川郡いの町波川560-2
TEL088-892-4976

詳細は、当法人ホームページをご覧ください
<https://www.inofukushikai.com>



安定した事業所運営

応募の提案内容 遵守について
法人を上げて、安定した運営に導く。



その他

デイサービスあさかぜの有効活用

- 入居するまでの待機期間利用することで→施設にすぐ馴染める
- 在宅利用者の認知症ケアの充実。

福祉、介護のセーフティネットを目指す取り組み

- 生活保護受給者でも利用できるグループホーム
- ユニバーサル就労の実践（子育て世代や高齢者の雇用等）
- 一人暮らしの高齢者（台風等）避難場所として施設を活用

社会福祉法人である事の自覚と実践

- 制度や市場原理では満たされないニーズに率先して対応する法人。
- 過疎地におけるサービスの充実（いの町山間部への居宅サービス、小規模多機能の提供）
- 地域住民のサロン、生涯学習会（いの町八田地区の出前講座等）
- 介護福祉士、介護支援専門員の育成 等々

